

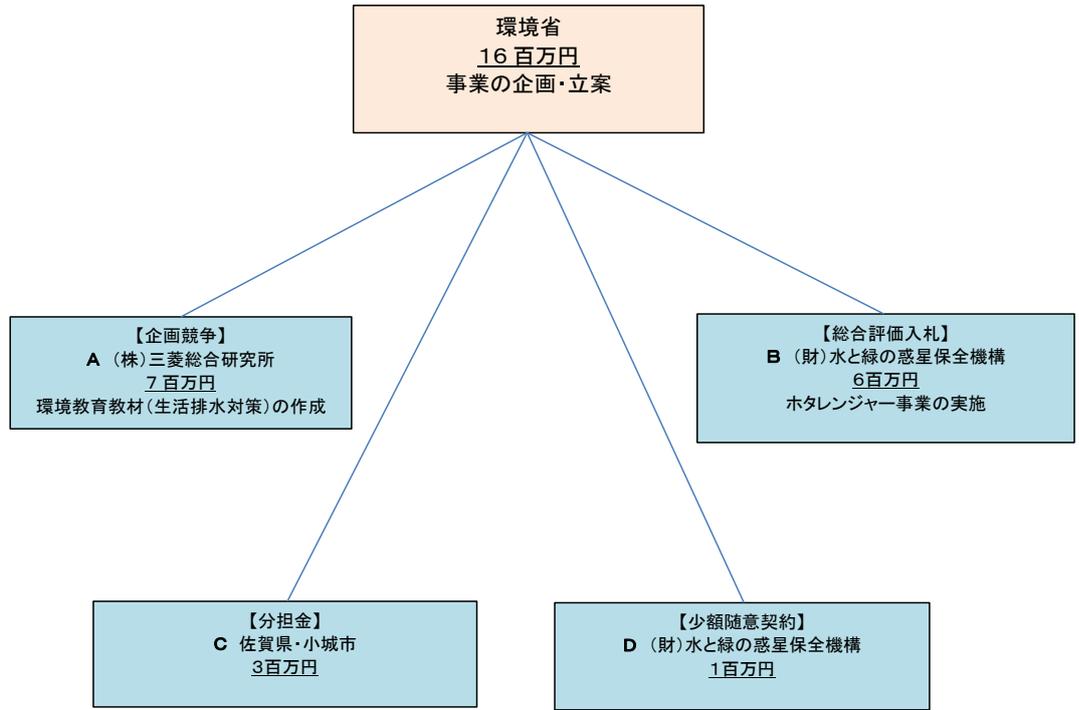
平成23年政事業レビューシート

(環境省)

<b>事業名</b>		水環境保全活動普及促進事業		<b>担当部局庁</b>	水・大気環境局		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>		平成22年度		<b>担当課室</b>	水環境課		水環境課長 吉田 延雄		
<b>会計区分</b>		一般会計		<b>施策名</b>	3-3 水環境の保全(海洋環境の保全を含む)				
<b>根拠法令(具体的な条項も記載)</b>		水質汚濁防止法第十四条の四		<b>関係する計画、通知等</b>					
<b>事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>		日常生活での水質汚濁防止などの水環境保全活動を促進するとともに、川や海、湖などでの環境保全活動や生物調査、遊びなど、直接水環境とふれあうことを通じて水環境への関心を喚起し、水辺の水環境問題や自然保護など、環境保全に対する理解と活動の推進を図る。							
<b>事業概要(5行程度以内。別添可)</b>		こどもの水生生物に注目した水環境保全活動の報告を募集し、優れた取組を表彰し、子どもたちが中心となった環境保全活動の推進と正しい理解の普及を図る。また生活排水対策資料の活用方法の検討、モデル事業の実施及び効果検証を行い、持続的な普及方策等について整理する。さらに水環境保全の取組の促進に資するシンポジウムを開催し、水環境保全に係る意識啓発を図る。							
<b>実施方法</b>		<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額(単位:百万円)</b>				20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		予算の状況	当初予算	28	42	28	10	18	
			補正予算	0	0	0	0		
			繰越し等	0	0	0	0		
			計	28	42	28	10	18	
		執行額	31	34	16				
執行率(%)	110.7%	81.0%	57.1%						
<b>成果目標及び成果実績(アウトカム)</b>		成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)
		こども等の国民の意識啓発と取組に係る事業のため定量的な成果目標の設定が困難。		成果実績					
<b>活動指標及び活動実績(アウトプット)</b>		活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
		こどもホタルレンジャー活動に参加したこどもの数(活動レポート募集事業への参加者数のみ)		活動実績(当初見込み)	人	1,120	1,306	1,724 (2,000)	— (2,000)
<b>単位当たりコスト</b>		6,052 (円/人)		算出根拠	単位当たりコスト=平成22年度こどもホタルレンジャー事業予算額(10,434千円)÷参加したこどもの数(1,724人)				
平成23・24年度予算内訳	費目		23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	環境保全調査費		10	18	東日本大震災に対応するための新規事業を要求したため要求額が増えているが、既存の事業については人件費等を精査することにより予算の削減を図った。				
	計		10	18					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	東日本大震災のためこどもホタルンジャー事業の表彰式が中止となったために不用率が高くなっている。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・用途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	こどもホタルンジャー事業においては、事業対象の拡大等により、参加者の増加を図り、単位コストの削減を図っている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>・こどもホタルンジャー事業については、健全な水環境の象徴としてホタルに関する活動を対象としてきたが、他の水生生物も対象とすることにより、より内容の多角化が図られてきてきているところであり、事業実施における情報発信の工夫等を行い、継続的に事業効果の拡大を図っていく必要がある。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<p>東日本大震災の影響、社会の変化をふまえた事業を実施することが重要であり、かつ、継続経費であることから既存事業の予算規模削減に努めること。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
<p>東日本大震災に対応するための新規事業を要求したため要求額が増えているが、既存の事業については人件費等を精査することにより予算の削減を図った。</p>			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
<p>&lt;事業仕分け第2弾&gt;  事業番号B-8  (事業名) 環境関係普及啓発事業 (1) 水環境保全活動普及促進事業(うち生活排水対策取組促進)  (2) 水環境保全活動普及促進事業(うち水環境ふれあい推進事業)</p> <p>評価結果: 国の事業として廃止  とりまとめコメント: 本事業の評価者12名のうち、廃止が11名、予算計上見送りが1名であった。評価者からは、国が行う必要性に乏しい、事実上の丸投げで委託先の予算執行が不透明、手段として有効ではない、またこの事業により国としての政策効果があったとは認められない、との意見があった。以上を踏まえて、WGの結論としては廃止としたい。</p>			

※平成22年度実績を記入



資金の流れ  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A. (株)三菱総合研究所			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	環境教育教材(生活排水対策)普及事業	7			
計		7	計		0
B.(財)水と緑の惑星保全機構			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	こどもホタルンジャー事業推進業務	6			
計		6	計		0
C.佐賀県・小城市			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	第24回全国名水シンポジウム開催	3			
計		3	計		0
D.(財)水と緑の惑星保全機構			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	水環境に関するシンポジウム開催支援業務	1			
計		1	計		0

支出先上位10者リスト

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
A.					
1	(株)三菱総合研究所	環境教育教材(生活排水対策)普及事業	7	企画競争	99%
B					
1	(財)水と緑の惑星保全機構	こどもホタレンジャー事業推進業務	6	2	非公表
C					
1	佐賀県・小城市	第24回全国名水シンポジウム開催	3	分担金	-
D					
1	(財)水と緑の惑星保全機構	水環境に関するシンポジウム開催支援	1	少額随契	-